

あじさい142号

第44回運動会が開催されました！



第44回育成会運動会が開催され、県立体育館に約450名が集まりました。今年は60周年を記念し60にちなんだ競技も行われ、記念品としてマドレーヌが来場者全員に配られました。



吉田弥生さん(みどり)、沼口和輝さん(陽香里)、松川勇人さん(会員)、篠崎優さん(さんらいず)が会旗を持って入場しました。



蓑田恵さん(あじさいの家)が堂々と選手宣誓を行いました。

借り者競争では「60の看板を身に着けている人」というお題が出され、来賓のみなさんに看板を着けて参加していただきました。



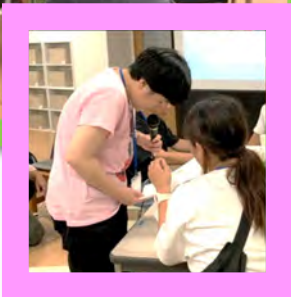
応援するほうも思わず力が入る綱引き。



第11回「みんなで知る見るプログラム」 研修会が開催されました！



8月24日(土)、夢工房みどりにて第11回「みんなで知る見るプログラム」研修会が開催されました。



もくじ

- 定例会発
「親なきあとは…」
- 60年を振り返る⑤
- 育成会ing
- きらり
- 第11回「知る見るプログラム」研修会開催
- 育成会運動会報告
- お知らせ



定例会発 「親なきあと」を考える

会員定例会ではこれまでに幾度となく「親なきあと」について取り上げてきました。いくら話してもこれといった結論が出るものではありませんが、話すことで気づきがあったり課題が見えたりするものと実感しました。8月の定例会で全国手をつなぐ育成会連合会より案内があった「親なきあと」について取り上げたテレビ番組を視聴し感想を語り合い、翌9月にはそれに関連して「親なきあとのコーディネーターは誰？」というテーマで話し合いました。



8月の定例会



全国手をつなぐ育成会連合会を通して行われたアンケートの結果を基に制作され、NHK教育テレビで放送された「親なきあと 我が子は…～知的・精神障害者 家族の願い～」という番組は現在の障害福祉の現実と課題を浮き彫りにした内容で、大変興味深いものでした。親なきあとの”住まいの場”として注目されているグループホームも現実問題として、全国の障害者の約一割程度しか利用出来ない現状や、わが子の「親なきあと」の受皿として親の会でグループホーム建設を模索し奔走する親の姿は身につまされるものがありました。グループホーム建設の為に土地探しも難航する中、近隣住民からの理解が得られない現実と同じ障害のある子の親として辛いものがありました。本来、グループホームの建設には近隣住民の同意を取り付ける必要はないものの、反対意見を押し切って建設してもその後のトラブルを考えると躊躇する気持ちになるのも当然です。「私たちの子どもが何を悪いことをしたの？」と保護者説明会で発言された親御さんの意見に切なくなりました。以前に比べ障害者への理解は進んでいるとはいえ、現実問題としてこのように提示されると障害者理解啓発の必要性を改めて感じました。現在、全国で徐々に高まりを見せている「啓発キャラバン隊」活動も共生社会の実現を目指した活動なので、今後は一般社会に向けて啓発活動を行わなければならないと感じました。視聴後、参加者の皆さんと感想を話し合いました。

「自分が子どもの面倒を見るのが出来なくなった後はグループホームでの生活を希望している。」と話される方が多く、まずは短期入所（ショートステイ）を体験させて、グループホーム入居に向けての練習をしている方が多かったようです。しかし、現在は入居できるグループホームを探すのも困難なようで、グループホーム増設と共に障害福祉の人材不足の解消が参加者の皆さんの切実な願いのようでした。



9月の定例会



多くの親が様々な手当や年金、サービス利用の申請や調整、関係機関へのつなぎなどを行っていると思いますが、親なき後このようなことをしてくれるコーディネーターを誰に頼むかということを話し合いました。兄弟姉妹に頼みたいという方も、親と同じようにはできないだろうし、負担はかけたくないという意見や一緒に住まなくてもいいから気にかけてくれればいいという意見などがありました。家族だけでなく本人の周りに一人でも多くの理解者や支援者を作っておくことが大事です。今は相談支援専門員がサービス等利用計画書の作成を通じて家族の思いを聞いてくれる大切な存在となっており、担当の相談支援専門員を中心に利用事業所の職員やほかの家族なども巻き込んでネットワークを作ることが重要になってくるのではないのでしょうか。

先日全国手をつなぐ育成会連合会から“「親なき後」をみんなで支える”という本が出版されました。今年4月に長崎市育成会の研修会でご講演いただいた渡部伸さんが、「親なき後の生活資金をどうする？」というテーマで執筆されているほか、いろいろな切り口で「親なき後」にスポットを当てた書籍です。興味のある方は長崎市育成会啓発事業までお問い合わせください。

育成会は60周年!

60年を
振り返る⑤

育成会の60年を振り返るこのシリーズも5回目となりました。今回は育成会の本人向け活動について振り返ってみましょう。育成会の本人向け活動には現在生活講座「フラワーアレンジメント」「書道」、余暇活動「おたのしみ倶楽部」「夢くらぶ」、本人部会「FICS」があり、育成会会員（正確には会員の障害のある子ども）であればどなたでも参加できます。

平成12年発行の広報あじさい30号「本人活動特集」には本人活動に対する思いがつつられています。

『(前略)…そして、ここ数年前から、本人の声があちこちから上がり、法まで動かす時代になってきたことは、皆さんもご存知のことでしょう。本人部会 FICS が結成され活動を開始しました。これは大変意義深いことです。言うならば育成会の新しい方向への第一歩であり、福祉の新しい時代への幕開けです。私たち親は、わが子の声に耳をすまし、その意思表示を理解し、しっかり受け止め、叶えられるよう準備しなければなりません。それは今まで以上の努力を要することでしょう。…(中略)…本人たちの生き生きとしたその姿、その顔を見てください。その笑顔こそが私たち親の喜びです。生き甲斐です。育成会活動の目的です。そしてその活動が広く社会の中で、地域とつながっていくことが、無理解による偏見や社会の成長不足による偏見や社会の成長不足による差別をなくす最善の方法ではないでしょうか。』

本人活動の歴史

●平成8年4月

「フラワーアレンジメント教室」スタート
現在毎月第2、4土曜日 10:00～

●平成11年9月

「おたのしみ倶楽部」スタート
現在毎月第3日曜日 13:00～15:00

●平成12年6月

本人部会「FICS」発会
現在年8回程度 10:00～12:00

●平成12年7月

「書道教室」スタート
現在毎月第4土曜日 13:00～

●平成19年11月

「夢くらぶ」スタート
現在土日祝日 9:30～14:30

※予定は変更されることがあります。

平成13年発行のあじさい36号では「知的障害者の人生設計」というテーマでアンケートをとっており、その中での休日の過ごし方についての質問では「テレビを観る」「買い物に行く」「音楽鑑賞」という答えが半数を占めていました。また休日にやりたいことでは「旅行」「スポーツ」が多く、友だちがいるかという問いには3割以上の方がいないと答え、習い事をしてるかという問いでは8割の方がしていないと答えています。

育成会の本人向け活動は余暇活動の充実や仲間作りを目的に実施しています。一人で外出が難しい方は親が送迎をしたり、付き添ったりしないといけませんでしたが、移動支援の普及で、家族とではなくヘルパーと一緒に出掛ける方も増え、家族が本人の余暇活動の多くを支えていた時代から徐々に余暇の選択肢も増えています。また、本人部会 FICS では自分の思いを話したり人の話を聞いたりするだけでなく、「みんな

で知る見るプログラム」やクリスマス会などのイベントを通じて他法人の本人部会と交流しています。障害のある人たちがたくさんの活動を通じて体験の幅を広げ、地域で豊かな生活をしてほしいという思いは上記の19年前と何も変わっていません。これからも様々なニーズに合わせて育成会の本人向け活動をもっともっと充実させていきましょう！



～～南部地区グループホーム建設がいよいよ始まります～～

長崎市育成会 12 棟目となる南部地区グループホームの建設がいよいよ始まります。平成 24 年に陽香里工房が開所して以来、南部地区での住まいの場（グループホーム）のニーズが高まっていたが、ようやく香焼町に土地が見つかり、建設や予算などの目途がつき、皆さんへご報告できる状況になりました。来年 5 月開所を目指しています。今後のスケジュール予定は下記のとおりです。

◎場 所：長崎市香焼町字田ノ浦 494 番 7

◎定 員：グループホーム 10 名 短期入所 4 名

<開所までのスケジュール予定>

- 令和元年 7 月 31 日…工事業者との契約（積水ハウス株式会社と随意契約）
- 令和元年 8 月～12 月…土地購入、建設打合せ
- 令和元年 12 月末…工事着工
- 令和 2 年 1 月…開所説明会
- 令和 2 年 4 月下旬…工事完了
- 令和 2 年 5 月中旬入居開始

～～育成会創立 60 周年記念講演会を開催します～～

令和元年は、長崎市育成会が創立 60 周年目を迎える年です。皆さんご承知のとおり、この 60 周年の年に開催される育成会行事（新年親子の集い、定期総会、育成会運動会）を記念行事と位置づけ、60 周年を記念する内容で開催してきました。これら記念行事の締めくくりとして、今年 11 月に 60 周年記念講演会を全国手をつなぐ育成会連合会会長、久保厚子氏をお招きし開催することになりました。多くの会員の皆さんの参加をお待ちしています。

○日 時：令和元年 11 月 2 日（土） 13 時～15 時 30 分

○場 所：長崎原爆資料館ホール 長崎市平野町 7-8

<60 周年テーマ>

“手をつないで 60 年 新しい時をみつめて これからもずっと”

<記念講演テーマ>

“60 周年を迎えて、地域における育成会のこれからの進むべき道”

◎講演者：全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保厚子 氏



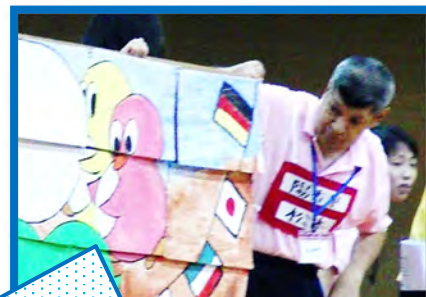
きらり



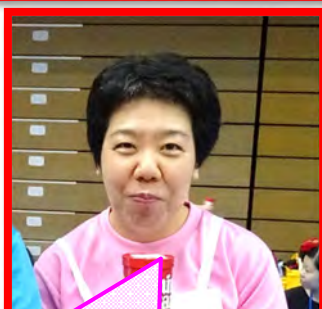
9月14日に行われた育成会運動会ではたくさんのボランティアや会員さんにお手伝いいただきました。そして事業所の職員さんといっしょに係として頑張っていた本人さんがいらっしやったのをお気づきでしたか？今回のきらりでは運動会の中で係として活躍されたみなさんをご紹介します。



用具係（午後）
福田真由美さん(夢工房みどり)
運命ゲームを目の前で見られて嬉しかったです。足がきつかったので湿布をして来年もまたやりたいです。



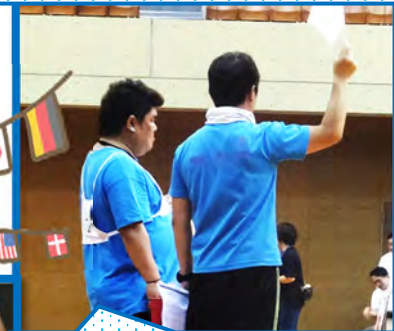
用具係（午前）
松本浩昭さん(陽香里工房)
道具を準備したり、片付けたりするのは忙しくて大変でしたが、面白くて楽しかったです。また用具係をしたいと思います。



スタート係（午後）
水江一恵さん(さんらいず)
笛に強く息を吹き込むことが大変でした。



スタート係（午前）
山田千鶴子さん(あじさいの家)
笛を吹いて、褒められてよかったです。



決勝係（午前）
金子広明さん(さんらいず)
係に選ばれて、嬉しかったし、楽しかった。

放送係（午前）
松村宗範さん(ワークあじさい)
放送係をやってみたかったので希望しました。練習をワークでも家でもしました。当日はうまく言えて楽しかったです。



放送係（午後）
藤田匠美さん(会員)
私は初めて放送のお仕事をしました。職員の方にほめてもらって嬉しかったです。皆さんに聞こえるように、はっきりと言えて良かったと思いました。

決勝係（午後）
濱崎真理さん(あじさいの家)
ゴールテープを持って、終わった後にひもをくるくる巻くのが楽しかったです。学生さんとか黄色のチョッキを着たおじさんなどいろんなボランティアさんと話げできて嬉しかったです。



第11回「みんなで知る見るプログラム」研修会開催

8月24日（土曜日）夢工房みどりにおいて第11回「みんなで知る見るプログラム」研修会が開催され、参加者19名、支援者14名が集まりました。今回は他己紹介のワークや『障害ってどんな感じ?』、

自分の挑戦したいことややりたい気持ち、力を発見する『チャレンジワーク』に挑戦しました。

『障害ってどんな感じ?』では、それぞれの班の支援者が障害について分かりやすく伝えた後、自分が持つ障害というものへのイメージを色や絵、言葉で表現しました。障害のイメージを灰色の折り紙で表す方が多く、嫌なもの、辛いものとして話されていました。中にはピンクを使って表現した方もいましたが、ピンクはその方にとって好きではない色だったようで、同じくいやなものとしてとらえていました。支援者の先入観ではなく、やはり本人の言葉を聞かないといけないと改めて実感しました。一方では、自分には障害があっても大変なことも多いけれど、頑張っているから元気なイメージという方もいて、聞いている支援者のほうが元気をもら

うような説明でした。『チャレンジワーク』ではまず自分の挑戦したいことを書くのですが、それがなかなか思い浮かばず筆が進まない人が多く、やりたいことや夢を語る機会が少ないのかもしれないと感じました。この自分を知り可能性や夢を見つける「みんなで知る見るプログラム」を通じて、多くの参加者が自分のやりたいことや夢、可能性を見つけてほしいと思いました。



福祉合同ガイダンス開催

8月23日（金）県立鶴南特別支援学校にて合同福祉ガイダンスが開催されました。今回で5回目となるガイダンスは、県内の特別支援学校の児童・生徒及び保護者、職員が法人や事業所のブースとなった教室を回り、事業所やサービスの内容などを知って

もらうことを目的に開催されています。今年も育成会の5つの日中事業所と相談支援事業、グループホーム、タイムケア、啓発の職員が、来られたご本人や保護者、先生にそれぞれの事業の説明をしたり、進路相談に応じました。



祝60周年

育成会運動会開催！

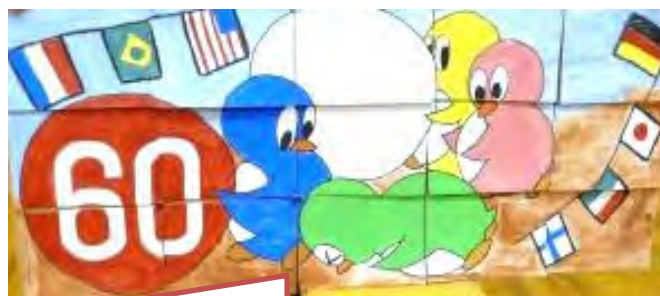
9月14日(土)、第44回育成会運動会が長崎県総合体育館(アリーナかぶとがに)にて開催されました。純心大学・長崎女子短期大学・長崎大学・NEC・ライオンズクラブ・会員のボランティアの皆さんにお手伝いいただき、利用者・会員・職員・来賓を含めた総勢450名の参加者で、16競技の熱戦が繰り広げられました。競技だけではなくスタートのホイッスル係、ゴールテープ持ち、用具係等の競技進行係として随所に利用者さんの姿が見られました。育成会創立60周年記念にちなみ、競技名や競技の中にたくさんの『60』がちりばめられていました。昼休みには障害者スポーツ体験もあり、皆さん休憩もそこそこに珍しいスポーツを楽しまれました。



今年は50m走ならぬ60m走。ゴールテープも利用者が持ちます



長崎県障害者バトントワラー隊の林田真実さん(あじさいの家)



毎年新作が登場する「あなたもピカソ」では陽香里工房が作成した絵が登場。ペンギン水族館のペンギン飼育60年を育成会60周年と重ね、ペンギンの玉転がしのデザインにしたそうです。



午後一番目の「応援合戦」では、白いTシャツでさわやかに応援した白組に対し赤いタオルを振り回し、ダイナミックな応援を繰り広げた紅組が勝利しました。



来年オリンピック・パラリンピックが開催されるのを記念し、昼休みに「障害者スポーツ」の体験が行われました。

応援合戦で差をつけた紅組がそのまま逃げ切り勝利！優勝杯を掲げる応援団長の東海真さん(夢工房みどり)



おしらせ



社会福祉法人
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部
 長崎市大橋町 19-19
 文教カテリーナ1F
 Tel:095-845-5677
 E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

書道

日時:第4土曜日
 時間:午後1時~
 場所:ハートセンター社会適応訓練室
 会費:1回 500円

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~
 ※11/23は休みとさせていただきます。
 場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室
 会費:1回1300円



おたのしみ倶楽部

日時:10月20日(日)13時~15時 日時:11月15日(日)13時~15時
 内容: DVD鑑賞 内容:ハートセンター文化祭を見に行こう!
 *毎回参加費300円を翌月に請求させていただきます。
 *人数把握のために必ずお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせは
 ハートセンター事務局まで。 ☎:847-1290
 ※計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。

定例会

日時:10月15日(火)10時~12時 ハートセンター軽スポーツ室
 「エアロビクス&ストレッチ」スポーツの秋です。無理のない程度の運動で、少し身体をほくしてみませんか?身体も気持ちも若返る…かも?!

育成会ボウリング大会

と き:11月4日(月祝)10:30~12:00
 ところ:ラッキーボウル (大橋町25-25 ☎095-846-2171)
 参加費:1000円(ボウリング2ゲーム・シューズ代)

※参加費は翌月請求となりますので当日はいただきません。
 お申し込み・お問い合わせは

タイムケア・啓発事務局まで ☎:845-5677
 申し込み締め切りは10月21日(月)です!!

